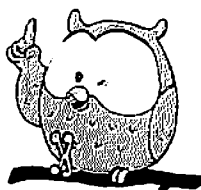


ちえふくろう



〒108-0014 東京都港区芝5-27-5

株式会社コネクト

代表取締役 三国浩晃

TEL 03-3453-8117

FAX 03-3453-8118

【ファーストクラスでお墓参り】

ちえふくろうに度々ご登場いただいているMさん(92歳・女性)と先日、お墓参りに行ってきました。Mさんとは2011年4月にお会いしてから毎年、私が運転をしてお墓参りに行っていました。しかし9月に入院をしてベッドに寝たままの状態となり、お墓参りに行くのが困難になりました。それでもMさんの「お墓参りに行きたい」という思いはとても強いです。

私はMさんの願いを何としても叶えたいと計画を立てました。まずは車。ストレッチャー(ベット)が入り車椅子も乗せられ、酸素や痰吸引器具も付いている車を確保しました。そして同行メンバーです。私は「チームM」と名付け、誰が側にいれば安心か考えました。Mさんの心臓はかなり弱っており血圧も高くて不安定。酸素もしていません。そこでがん哲学外来で一緒にいる看護師のUさんに付き添いを依頼。そして馴染みのヘルパーさん、NPOからは支援員の武井と私、そしてMさんの姪御さんご夫婦。秋晴れのもと主治医の快諾を得た「チームM」総勢8名の『ファーストクラスでお墓参りツアー』の決行です。(ファーストクラスとは、国際線などの長旅でも、シートがフラットになり、ぐっすり眠って目覚めると、現地に到着しているみたい。一度は乗ってみたいものです・・・)

ベットに寝たまま車に乗り込んだMさんの横には看護師Uさんがぴったりと寄

り添い、酸素飽和度や血圧を常に測り、「血圧が上がっています。ゆっくり走って下さい。」「つらそうです。休憩を入れて下さい。」「等と具体的に指示を出します。それが姪御さんご夫婦も安心でき何より私が安心できました。霊園到着後、車椅子に移られたMさんはすでに手を合わせていました。元柔道部の力持ちの運転手さんが車椅子ごと抱えて、墓前まで運んでくれ、Mさんと一緒にみんなでお参りをしました。

昼食は見える事例検討会で一緒にいるケアマネジャーのSさんから教えていただいた和食のレストランです。霊園から1本道で、車が揺れることもなく到着。お店に入ると、車椅子のままテーブルに付ける席を用意いただけていました。病院では殆ど食欲がない上、誤嚥がひどいMさんは少ししか食べられない状態でしたが、ご自身でお箸を持って会席料理をパクパク食べ始めました。天ぷらに、煮物、揚げ物、茶碗蒸しも、隣のヘルパーさんの心配をよそにパクパク。会席料理を食べたあとにクリームあんみつまでペロッと食べられました。

帰りのファーストクラスの車内でもゆっくりお休みになりながら、病院まで安全に帰ってきました。今回のツアーは、Mさんにとって、姪御さんにとって、そして私にとって、かけがえのないツアーでした。Mさんの夢を叶えた「チームM」のメンバーと応援していただいたみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。三国浩晃